

◎グラウンドの地区表示板◎

学校運営協議会の施設修繕の活動として、地域ボランティアの鶴岡さんが、「上町」「富士見が丘」「一色」等の地区表示板を作成し、グラウンドのスタンドの壁に取り付けてくださいました。

この地区表示板は災害発生時等に全校生徒が地区別に集団下校する際に目印になるものです。今までは地区名を印刷しラミネートされた用紙が吊り下げられており、風雨にさらされて劣化が激しく、気が付くとどこかに飛んで行ってしまっている状況でした。

今回はベニヤ板に下地となる白色のペンキを塗り、やすりをかける作業を数回経て、地区名を丁寧に黒色のペンキでレタリング。ペンキがにじんでしまい、白色ペンキで修正をするというたいへんな手間をかけていただきました。その腕前は職人技。12月からお仕事の合間にご自宅で製作して週末に取りつけに来校していただき、この度完成しました。一枚一枚、鶴岡さんの誠実で優しいお人柄がにじみ出ています。生まれ変わった見やすい表示板と鶴岡さんとの出会いに教職員一同感謝しております。ありがとうございました。

これは生徒会本部が中心となって作成した小中部活動交流会の冊子の部活動紹介の一部です。他に教科、汐鳴祭、委員会活動紹介のページもあり、それぞれの担当が4月からの新入生を思い浮かべながら‘先輩’として一生懸命書いた様子がかがえます。

2月22日(水)に一色小学校と二宮小学校から6年生を迎えて行われた小中部活動交流会。まずこの冊子を用いて生徒会本部役員から説明があり、その後は各部活動の部長に引率されて各活動場所へ向かいました。あら？3年生？と見間違えるほど一回りも二回りも大きく成長した1、2年生がさっそうとユニフォームに身を包み、グラウンドや体育館で6年生と活動する姿や各教室でクラフトづくりや楽器体験を優しく支える姿にこの1、2年間の日々の積み重ねから生み出された揺るぎない頼もしさを感じました。新入生を迎える4月が楽しみです。

卓球部の活動場所を歩いていると
「俺も初心者だったけど、大丈夫、大丈夫！」と小学生を励ます部員の姿が。頼りになります。



◎3月4日(土)は‘はらっぱマルシェ’◎

中学生の企画力や発表力を生かし、地域の方々とのつながりを深めたいとの思いで学校運営協議会と地域学校協働活動推進員が呼びかけた‘はらっぱマルシェ’。1、2年生5組16名の生徒からの応募があり、実行委員の生徒が中心となって、準備を進めています。当日11:00~15:00、二宮町東大果樹園跡地みらいはらっぱ会場の「二宮中学校 学校運営協議会」のブースにおいて発表します。みなさん、どうぞお楽しみに。

◎3月8日(水)卒業式について◎

文部科学省等からの通知をふまえ、生徒および教職員については式典全体を通じて(国歌・校歌斉唱及び合唱の際を除き)マスクを外しても差し支えないこととしています。保護者の方は式典全体を通じてマスクの着用を含め感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

スタンドの壁に穴がなかなか開けられず、二宮小学校からお借りした電動ドリルで何とか取りつけられました。「メンテナンスにいつでも来ますよ。」とまで言っていただいた鶴岡さん。ただただ感謝です。



◎小中部活動交流会◎

「…雨の日には室内できつい筋トレをしたり、全員で楽しくリレーをしたりときつい日があるのと同時に楽しい日もあります。そんな充実した日々を一緒に過ごし陸上部は成長してきました。みなさんもこんな陸上部の一員になりませんか？」

「部員に優しく家族のように接してくれる先生やギャグで笑わせてくれる部員と一緒に野球をやりませんか？」